

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用				
授業概要					
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ					
到達目標					
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～				
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～				
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～				
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～				
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～				
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	パソコン講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	パソコン講座Ⅱ-B	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テックローディー会社を経て現在全国アリーナツアー・アーティストの専属ドラムテック鍵盤・竿物もこなすマルチテック 技術向上に常に向き合っている。				
授業概要					
PCを使用しての現場に必要なプロット・セット図等の資料作成方法を学ぶ。					
到達目標					
現場に必要なあらゆる情報、知識の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	ステージプロットの作成				
【前期】 6～10回目	セットリスト作成				
【前期】 11～15回目	タイムテーブル作成				
【前期】 16～19回目	ギターアンプ周りのセッティング図作成				
【後期】 20～21回目	ベースアンプ周りのセッティング図作成				
【後期】 22～26回目	キーボードのセッティング図作成				
【後期】 27～31回目	ドラムのセッティング図作成				
【後期】 32～35回目	アーティスト引き継ぎ資料の作成、DAW関連				
【後期】 36～39回目	アンサーシートの書き方 請求書の作成				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	楽器概論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	楽器概論Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン				
授業概要					
ドラムのセッティング、メンテナンス、真空管、ヒューズ、LOOP、プリアンプ等の楽器および音が出るまでの機材について学ぶ。					
到達目標					
セッティング精度やメンテナンス技術の向上、現場での連携の合理化、それらを合わせたローディー技術の向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	各種ドラムヘッドの特徴を知り各メーカーのパーツの違い ドラムのチューニング、分解清掃、ドラム用アクセサリ、ドラムのモニターシステムの特徴、ドラムのマイキングによる録れ音の変化				
【前期】 6～10回目	真空管の基礎、パワー管、プリ管、整流管の代表的なチューブ、6550=KT88 ヒューズの交換方法、スローブローとファストブローの違い、形状、アンペア数の確認				
【前期】 11～15回目	LOOPの原理を知り原音信号の走り方、LOOPを通る信号の経路、LOOPを使ったアンプチャンネルの切り替え 複数のエフェクトを使用したシステム作成、シリーズ接続				
【前期】 16～19回目	パワーアンプ部へ信号を伝える為の増幅器機と強調 AGのプリアンプ、アクティブベースのEQ部分、ブースト機能搭載機				
【後期】 20～21回目	インピーダンスの計算方法、Ω数表記と実機、正相と逆相				
【後期】 22～26回目	アンプ、エフェクターではない、他ジャンルのメーカーの正式名称 エフェクターボードを作成し音出し				
【後期】 27～31回目	コンパクトエフェクトを使用した歪みを作り 空間系エフェクトをセンドリターンへ接続しコントロール				
【後期】 32～35回目	レベルの取り方やケーブルの接続(MIDIとアンプコントロール) LOOPコントローラーよりアンプへ出ているシールドや、MIDIケーブルをまとめる作業				
【後期】 36～39回目	ジャンクションボックス(DI)等、シールドの出る来る位置を想定し転換時にも役立つケーブル処理とパミリ方				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	分野別講座Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン				
授業概要					
キーボード、ドラム、PAシステム、MIDIの基礎、デジタルオーディオについて、ラックの組み方等、現場におけるバンドスタッフ・ローディーの周りの業務について学ぶ。					
到達目標					
バンドスタッフ・ローディー周りの業務の理解、総合力、応用力の向上					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	ミキサーを使ったキーボードセッティング ミキサーの適正インプットレベルを知る 音色データのセーブとロード、プログラムの最小単位と音色の管理				
【前期】 6～10回目	基本的なドラム演奏を身につける。様々なドラム用アクセサリについて ドラムのモニターシステムの特徴、ドラムのマイキングによる録れ音の変化を知る。				
【前期】 11～14回目	ミキサーの機能を知る。 プログラムチェンジ、コントロールチェンジ。MIDIの応用				
【前期】 15～18回目	マッピングで任意の設定 MIDIの規格、DIN規格のピン数や繋がっている配線				
【前期】 19～20回目	CC等のメッセージ信号 MTRとDAWを体験する。バンドを組んで多重録音。				
【後期】 21～25回目	デジタル録音の仕組み 様々な工具(特殊工具含む)正しい使い方				
【後期】 26～32回目	楽器の省略記号、基本用語、図面を書く 大型ラックの組み方や配線方法				
【後期】 33～35回目	ノイズを極力抑えたシステム構築 一日の流れ、ツアーとフェス、現地楽器の違い				
【後期】 36～37回目	機材の清掃 ホコリの除去や、残っているテープ痕の取り方等				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージベーシック実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ステージベーシック実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テックローディー会社を経て現在全国アリーナツアー・アーティストの専属ドラムテック 鍵盤・竿物もこなすマルチテック 技術向上に常に向き合っている。				
授業概要					
重量物の取り扱い方、エフェクト周りの結線、複雑な仕組みのシステム構築、実際のセッティング、A/B BOX等の製作等について学ぶ。					
到達目標					
舞台に関する実践的な知識、技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	重量物の取り扱い方 アンプの歴史 アンプの基本操作 ・IN OUTの基本的説明とEQ部分について ・アンプの歴史と基本操作				
【前期】 6～10回目	アンプの歴史 アンプの基本操作 ・スタックアンプ(SPケーブル接続)コンポアンプ、エフェクターボード配線 エフェクターの基本				
【前期】 11～15回目	インピーダンスについて ・ハイインピーダンスとローインピーダンスの違い ・スピーカーユニットのインピーダンスの測定方法				
【前期】 16～18回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・立ち位置に対するアンプ位置 ・2バンド分の機材を転換				
【前期】 19～21回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・企画ライブシミュレーション ・トラブルシューティング				
【後期】 22～27回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・転換実習 ・ギターチェンジ ・ケーブル介錯 ・ハイエース積み込み				
【後期】 28～32回目	半田付け作業 ・A/B Boxの作成～パーツ、仕組み ・ソルダーレス・シールドの作成、ギターサーキットの内部構造				
【後期】 33～37回目	半田付け作業 ・オーバードライブの作成 エフェクターの電源種類				
【後期】 38～41回目	エフェクターボード作成 ・ボードの利便性、エフェクターの省略表記 ・固定方法、ケーブル処理、踏み易さや収納考察				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ローディー実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングメインのフリーのギターテックに師事。ギター、ベースを中心に、楽器の調整から音作りまで、現場に必要な知識を学ぶ。ロックバンド、ソロアーティスト、俳優、声優、アイドル、など、ジャンルや国内外を問わず幅広く活動中。				
授業概要					
弦交換、実践的な調整技術、回路の知識、メンテナンス技術、楽器の構造、結線の仕組みシステムの構築などの習得。					
到達目標					
様々なプロとしての技術を身につけ即戦力になる人材育成。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	ギター・ベースの調整 弦交換とチューニング ピックアップと回路について				
【前期】 6～10回目	MIDIについて 真空管について エフェクト接続順番応用編				
【前期】 11～15回目	ヒューズの種類 LOOPについて				
【前期】 16～18回目	プリアンプについて スピーカーインピーダンスの復習				
【前期】 19～21回目	メーカー名、会社名を正確に覚える 各自エフェクトボード作成 センドリターンを含んだシステム構築				
【後期】 22～27回目	システムマルチケーブル作成 ワイヤレスシステム				
【後期】 28～32回目	マルチエフェクター アコースティックギター				
【後期】 33～37回目	PresenceとResonance ラックエフェクター				
【後期】 38～41回目	MIDIコントローラー LIVE現場の資料作成 スイッチング実践				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	ローディー実地演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					
授業計画・内容					
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント				
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場				
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場				
4～5回目	ゲスト講師によるローディー・楽器テクニシャン授業				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					